

ハンドボール No. 84

Japan
Handball
Association

社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号 **羽水-女22**

年月日: 2021年8月17日(火)
 大会名: 令和3年度全国高等学校体育連合大会 福井県大会 第72回日本高等学校ハンドボール大会

公式記録用紙

A		岡山県立玉野光南高等学校						栃木県立栃木商業高等学校						B							
福井県		福井市		福井県立羽水高等学校体育館						2回戦											
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B							
	17	7	28	14																	
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数										
	4/4		1	2 後半	3	1	2	3	1/1												
			2059			0719															
No.	玉野光南高校					G	W	2	D	DR	No.	栃木商業高校					G	W	2	D	DR
1	妹尾 菜苗										1	今川 美鈴									
2 c	常長 みり										2	寺内 芽唯							1		
3	濱田 きらり					2					3	久我 結里奈					2	1			
4	関川 葵					10					4	藤本 翔子									
5	野上 菜央					6		1			5	小槌 千咲					3				
6	倉本 歩奈					4					6 c	菅原 咲恵					4	1			
7	執行 雪音					5					7	小林 流瑠					2				
8	岡部 衣莉香										8	七五三掛 佑衣					2				
9	洲脇 萌笑					1					9	郷 聖奈									
10	山本 涼可										10	原田 千波									
11	林 花鈴										11	江連 小雪									
12	塩崎 鈴々杏										12	小林 礼実									
13	荒井 美咲										13	播岡 沙英					1				
14	中山 咲良										14	久我 友来									
役員A	平松 恭子										役員A	永塚 梓									
役員B	細江 守男										役員B	菊池 麻美									
役員C	武縄 恵吹										役員C	島田 凜子									
役員D	永										役員D										

A	平松 恭子	チーム役員A署名	永塚 梓	B
---	-------	----------	------	---

レフェー	牛島 卓也	砂川 匠	牛島卓也	砂川匠
TD	大崎 祥弘	柴田 俊之	大崎祥弘	柴田俊之
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 86

令和3年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2021年 8月 17日 火曜
会場	福井県立羽水高等学校体育館
種別	女子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	後半	総得点	チーム名
	玉野光南	28	17-7	11-7	14	栃木商業
	第1延長		第2延長			7MC
	—		—			—
	—		—			—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>玉野光南のスローオフで試合開始。玉野光南執行のロングシュートで先制すると関川の速攻などで連続得点する。対する栃木商業は玉野光南のアグレッシブなDFにはまりミスが続く難しい入りとなったが、キャプテン菅原のカットインで1点を返す。その後玉野光南の関川・倉本の速攻が決まり、5点差になったところで栃木商業はたまらずタイムアウトを請求。直後小林のサイドシュートが決まるも、玉野光南のスピードある速攻で放されてしまう。追いかける栃木商業は菅原・小槌の連続得点で流れを切りにかかると、乗りに乗った玉野光南を止められず17対7で前半を折り返した。</p>
後半	<p>後半開始3分執行のロングシュートが決まり玉野光南がさらに得点を追加する。その後両チームともスピードある展開を見せるが、得点にはつながらない。ここで流れをつかみたい栃木商業は久我の速攻で反撃にかかるが、玉野光南も落ち着いてコンビプレーを決め反撃を許さない。後半DFからリズムをつかめてきた栃木商業だったが最後まで点差は縮まらず、主導権を握った玉野光南が28対14で勝利した。</p>

記入者 佐々木 共啓